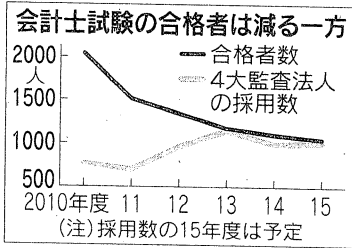


# 会計士不足、一段と

公認会計士の不足が一段と深刻になってきた。会計士試験の合格者数が年々減少するなかで、監査法人は



新規株式公開 (IPO) や国際会計基準 (IFRS) 移行、相次ぐ会計不祥事などへの対応で採用を増やしているためだ。2015年度は採用数が合格者を上回る可能性がある。この傾向が続けば将来の会計監査の品質低下につながる恐れもある。

先週発表になった15年度の試験合格者は1051人。前年度より4・6%減り、06年度に現在の試験制

## 今年度の合格者、過去最少 監査法人は採用規模拡大

度になってから最も少ない。4000人を超えた07年度から8年で4分の1に激減した。

調べた外部委員会の実動部隊として大勢の会計士が動員された経緯もある。

新日本、あずさなど4大監査法人は昨年度とほぼ同じ計画している。例年、試験合格者の8〜9割が4大法人に入っており、今年度も同じ傾向が続けば合格者が有利の「売り手市場」になる可能性がある。

この数年、監査法人は再び採用規模を回復させている。上場企業数そのものの増加やIFRS採用の広がりが必要な業務量が増えてくる見通し。会計に携わる人材の確保が大きな課題となっている。